

# 2011年2月期 第2四半期決算説明会



1  
ONLY ONE



その答えは  
ポケットカード。

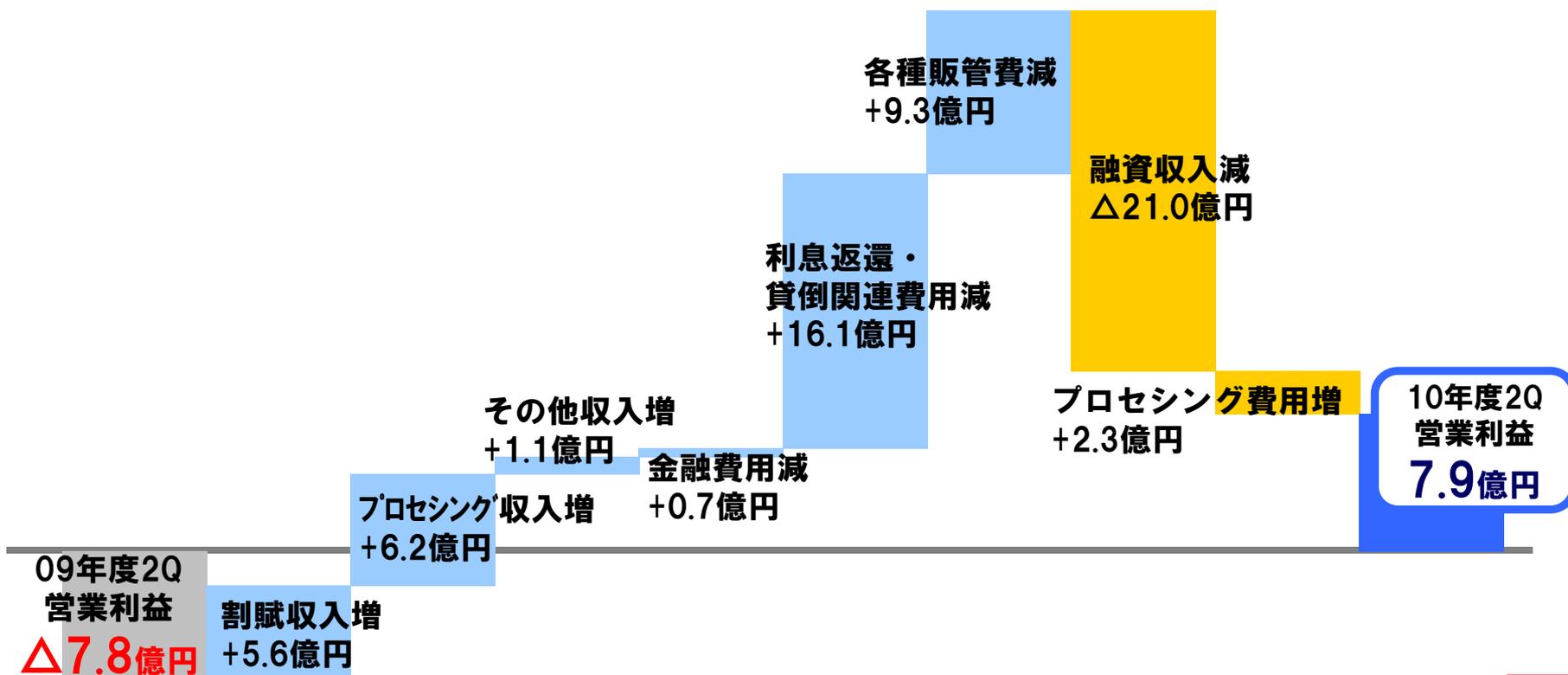
代表取締役社長 **渡辺 恵一**

	10年8月期	前年同期比	期初公表数値
① 営業収益	18,271 百万円	△4.2%	18,100 百万円
② 営業利益	790 百万円	-	500 百万円
③ 経常利益	794 百万円	-	500 百万円
④ 純利益	831 百万円	-	600 百万円

融資収入減を割賦・プロセッシング収入増でカバー  
業務効率化、貸倒・利息返還コスト等の費用削減により  
前年同期比（営業利益）で**15.7億円**の増益

増益要因 +39.0億円

減益要因  $\Delta$ 23.3億円



単位：百万円

	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	割賦購入あっせん	140,473	5,424	4.0%
②	融資	24,107	△11,446	△32.2%
③	その他	1,509	△702	△31.7%
④	取扱高合計	166,090	△6,723	△3.9%

単位：百万円

	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	割賦売掛金	80,853	8,142	11.2%
②	営業貸付金	116,365	△16,557	△12.5%
③	債権残高合計	197,218	△8,470	△4.1%

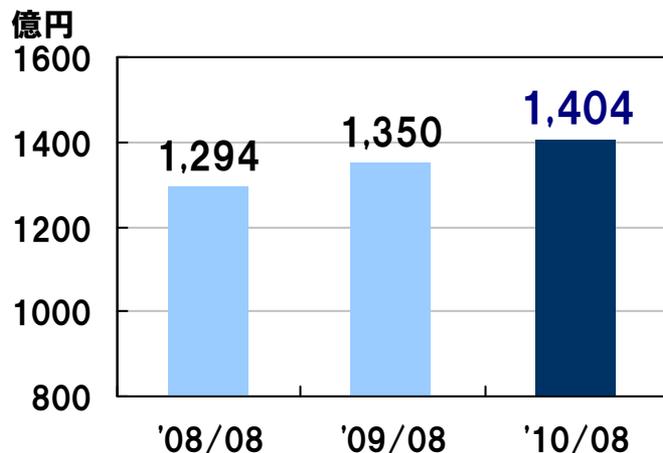
※債権流動化分を含む

単位：百万円

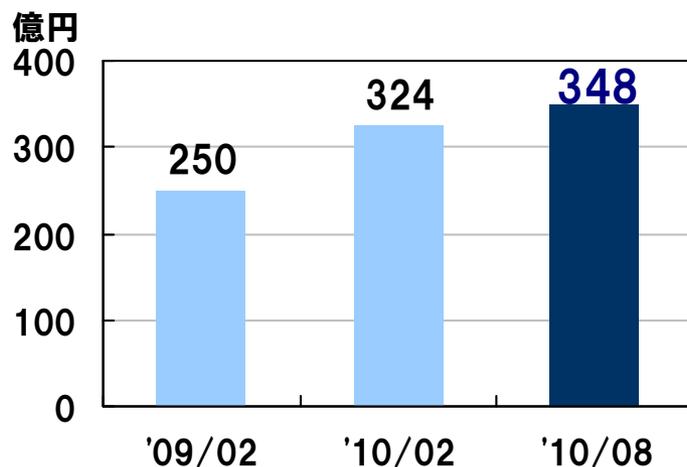
	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	割賦購入あっせん	4,766	559	13.3%
②	融資	10,512	△2,099	△16.6%
③	プロセッシング	2,294	623	37.4%
④	その他	697	116	20.1%
⑤	営業収益合計	18,271	△799	△4.2%

## ショッピング取扱高、Sリボ残高は共に堅調に推移

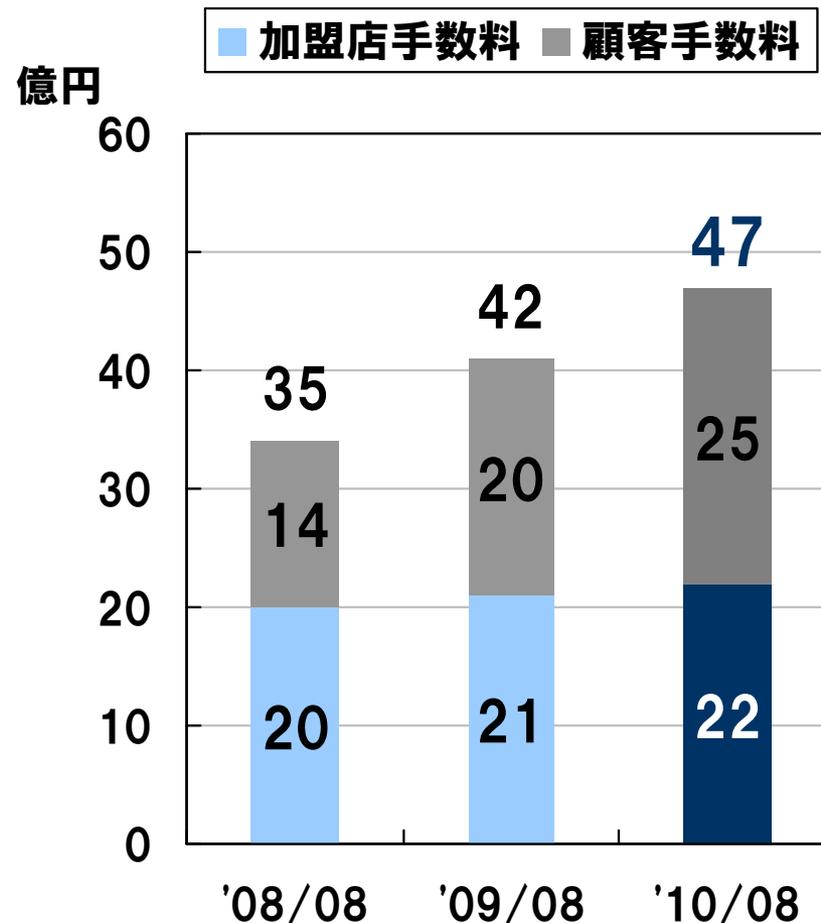
### 1. ショッピング取扱高推移



### 2. ショッピングリボ残高推移

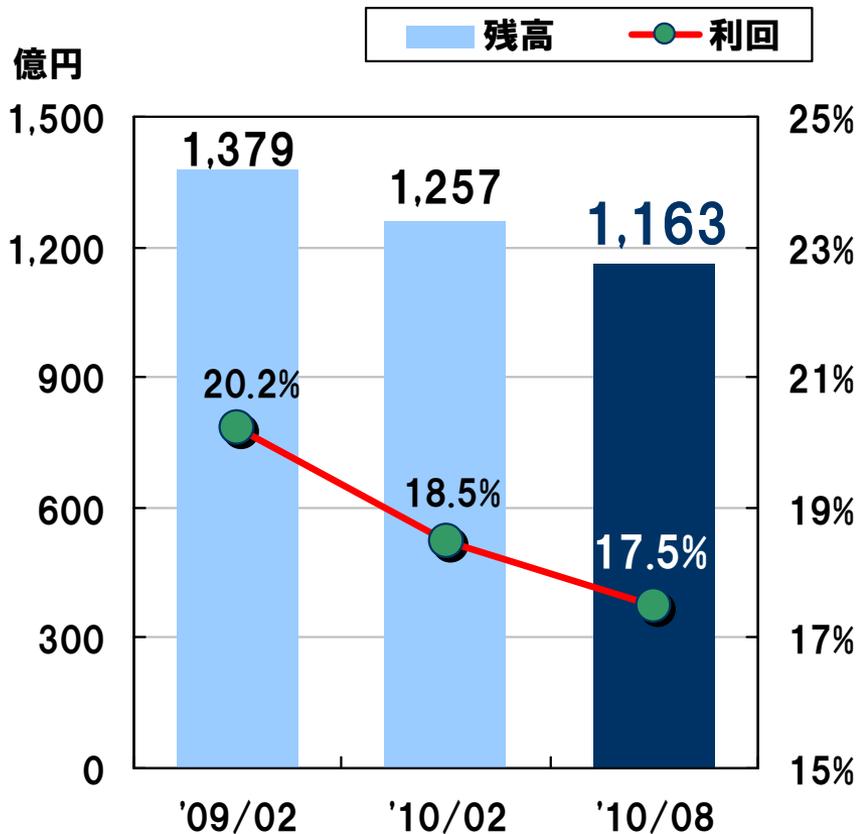


### 3. 割賦購入あっせん収益推移

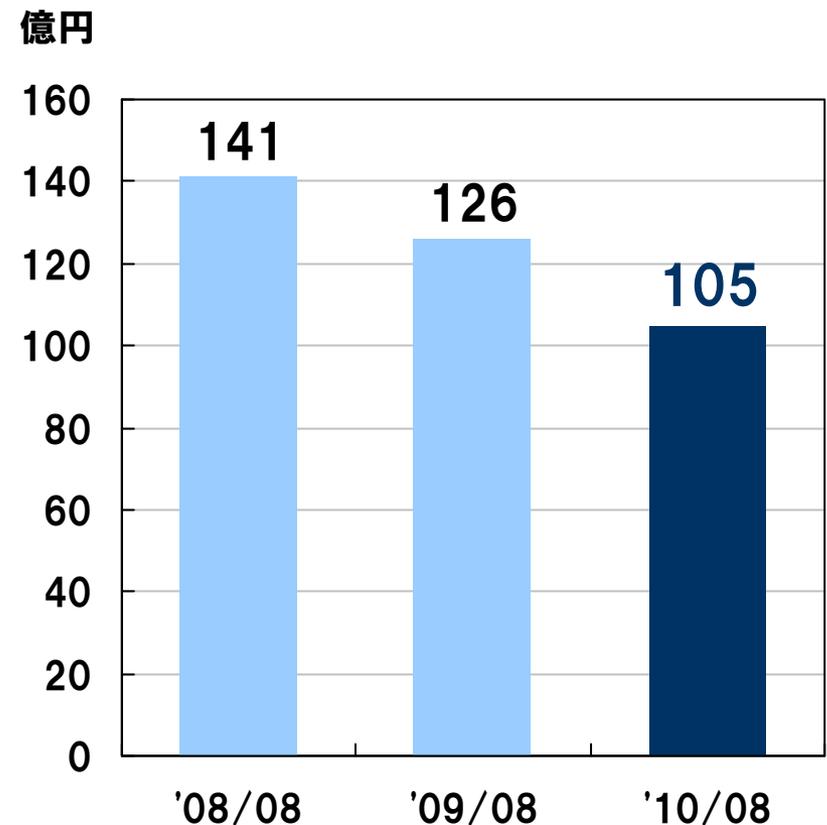


## 総量規制に基づく与信厳格化等により残高・収益は減少

### 1. キャッシング残高推移

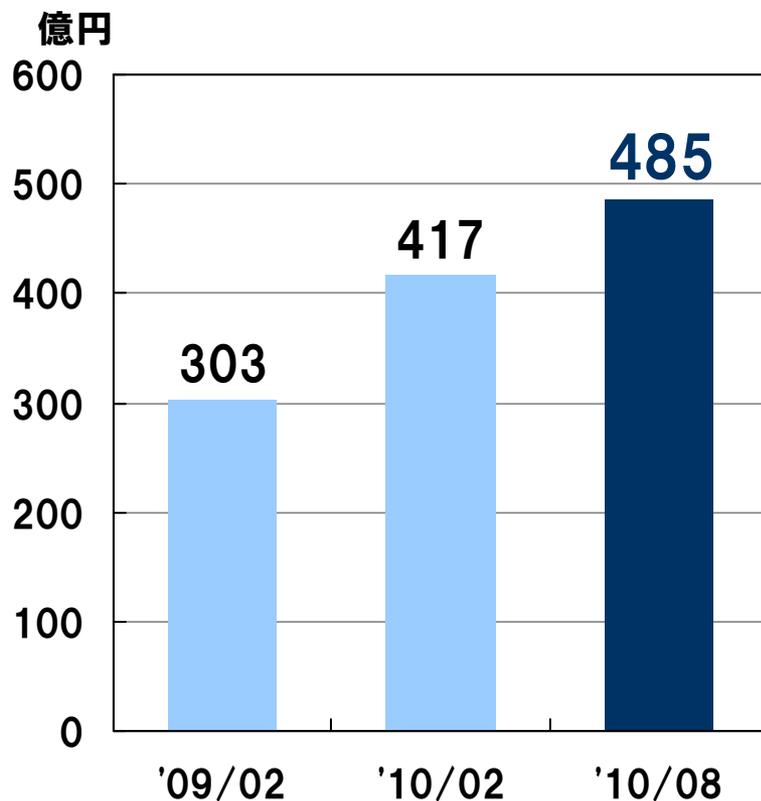


### 2. キャッシング収益推移

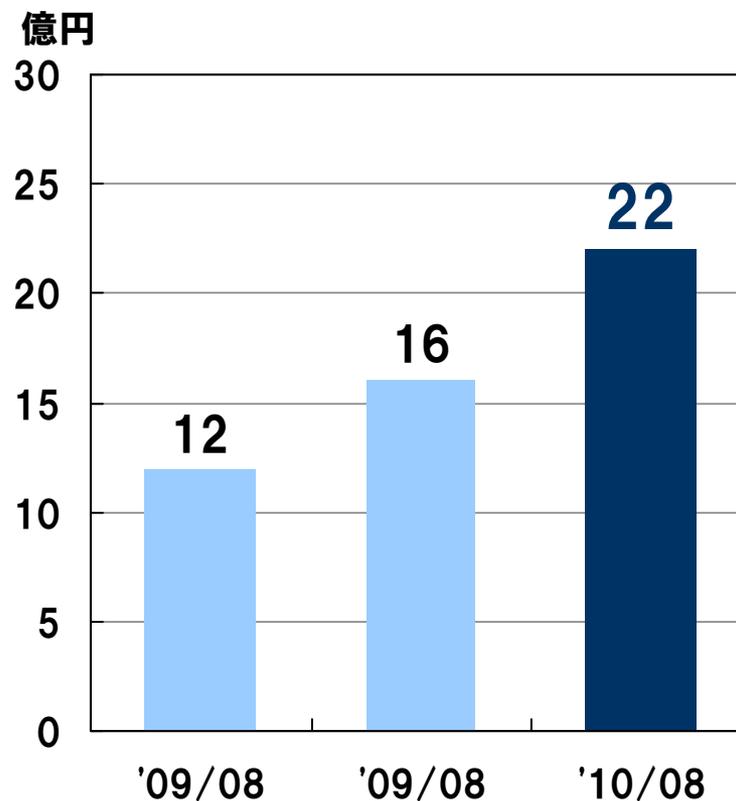


## 保証残高は計画を上回るペースで拡大

### 1.保証残高推移

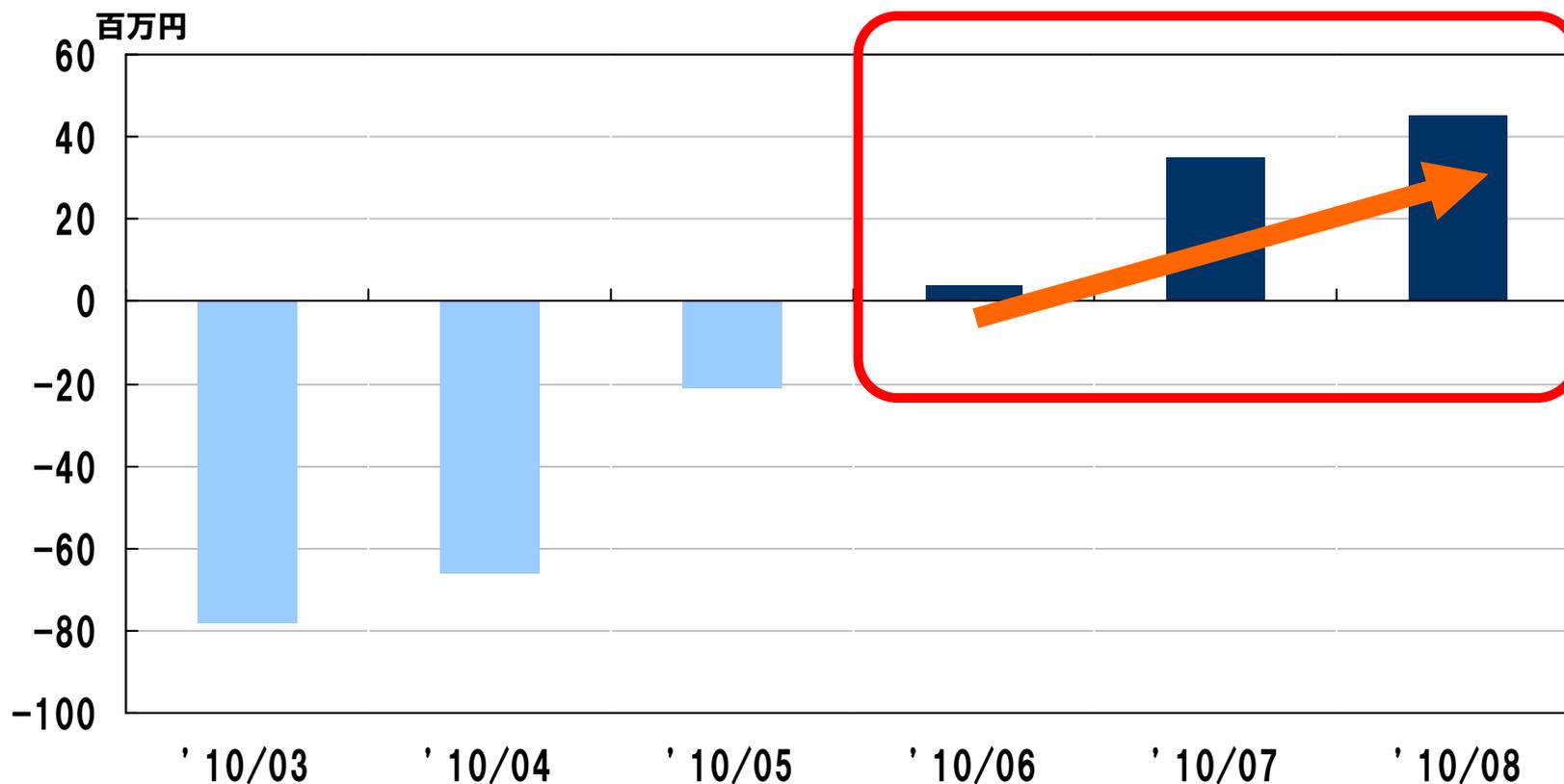


### 2.プロセッシング 営業収益推移



6月度に単月黒字を達成、以降黒字幅を拡大  
年間黒字化に向けて順調に推移

## 1.プロセシング事業月次損益推移

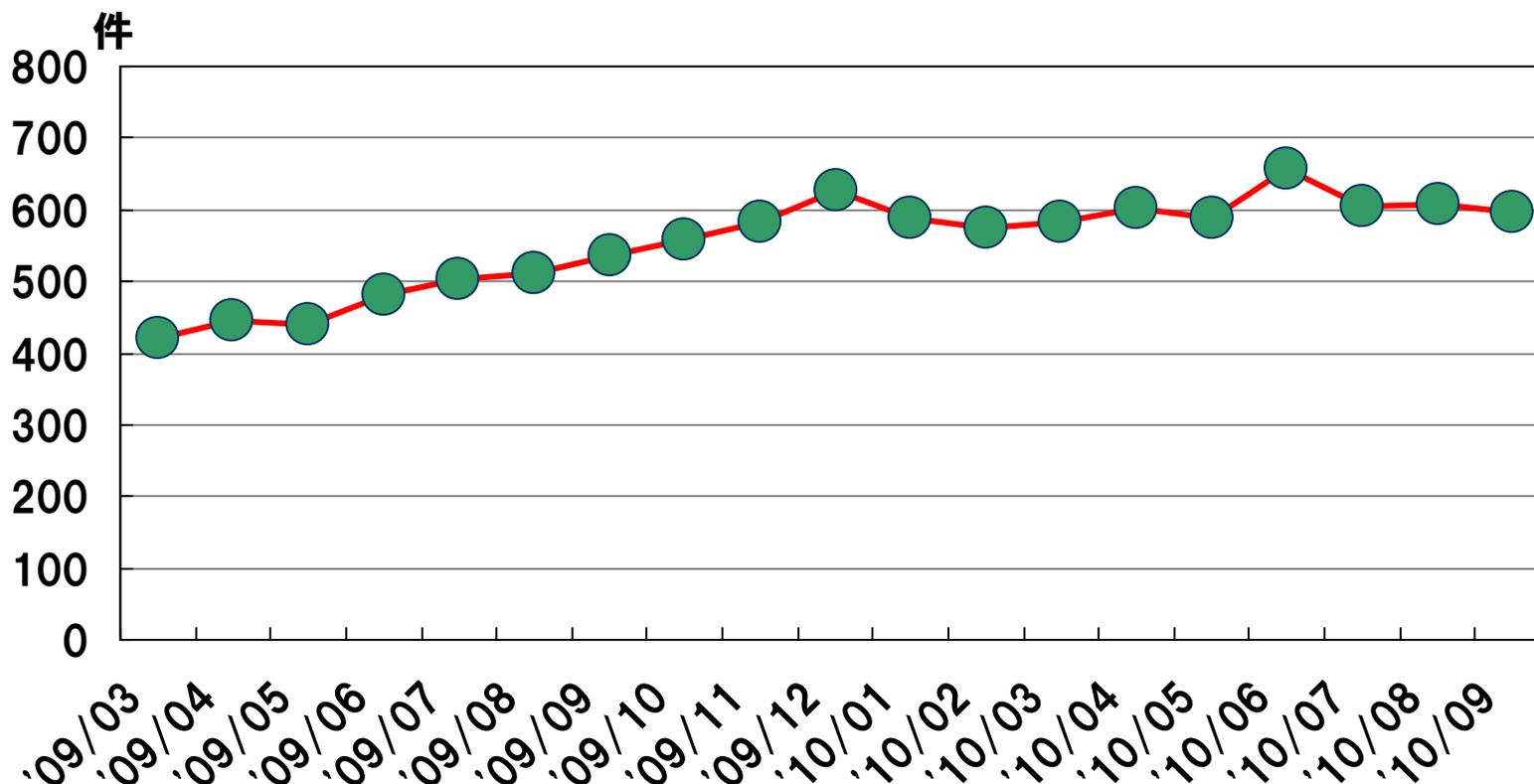


単位：百万円

	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	金融費用	1,705	△68	△3.9%
②	販売管理費合計	15,775	△2,309	△12.8%
③	貸倒利息返還関連費用	5,866	△1,612	△21.6%
④	その他販管費	9,909	△697	△6.6%
⑤	営業費用合計	17,480	△2,378	△12.0%

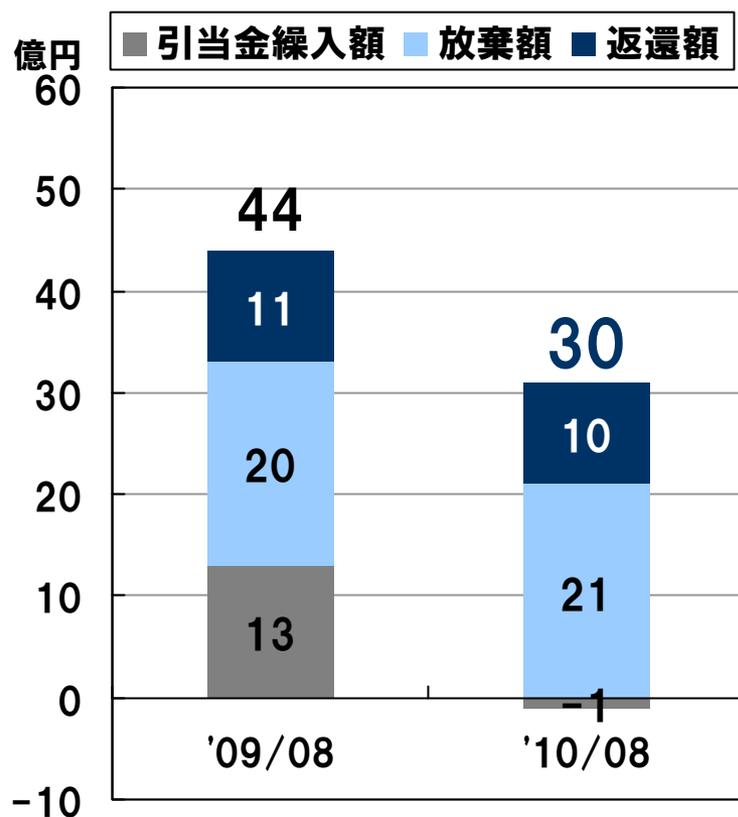
## 新規介入は減少ながら利息返還請求は高止まりで推移

### 1. 利息返還請求推移

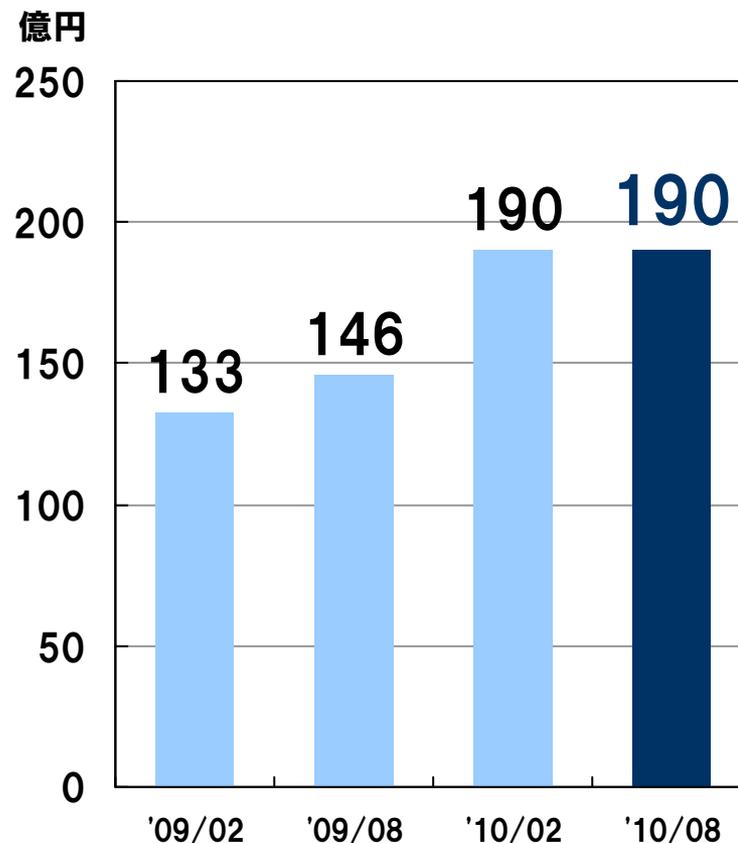


引当金繰入の減少により費用は減少  
将来リスクに備え引当金は高水準を維持

## 1. 利息返還関連費用

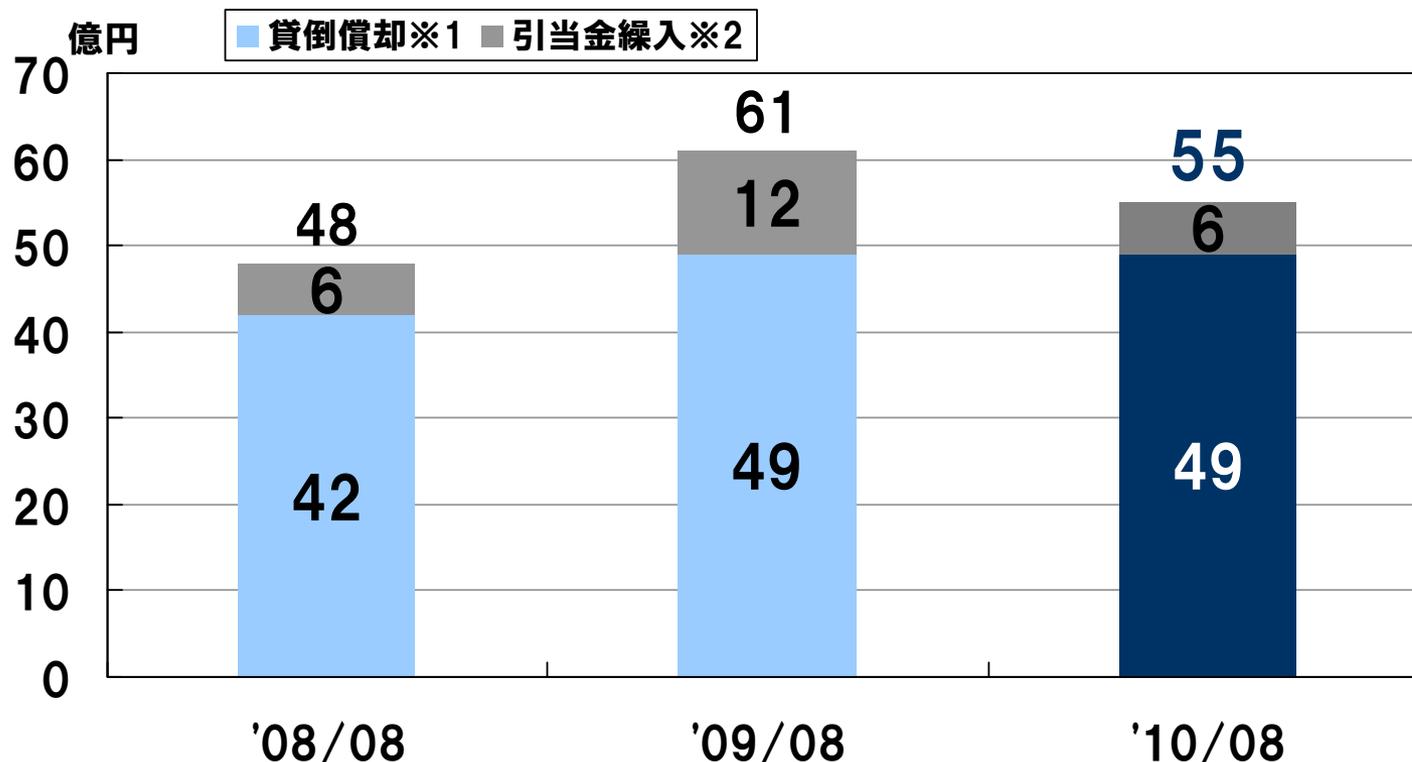


## 2. 利息返還引当金状況



## 利息返還部分の引当金繰入減に伴い、 貸倒関連費用は減少

### 1.貸倒関連費用推移

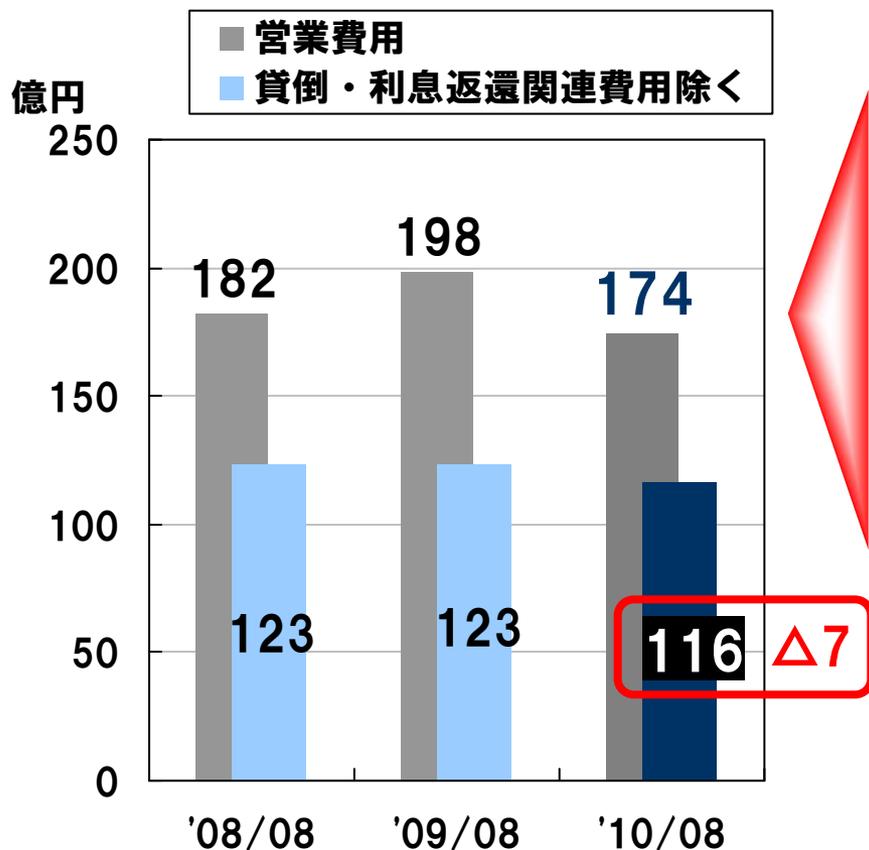


※1 利息返還に伴う債権放棄含む

※2 利息返還に係る貸倒引当金繰入も含む

## 経営改善計画を着実に実行し大幅な費用減を実現

### 1. 営業費用推移



### 2. 主な実施施策

#### (1) 業務プロセスの見直し

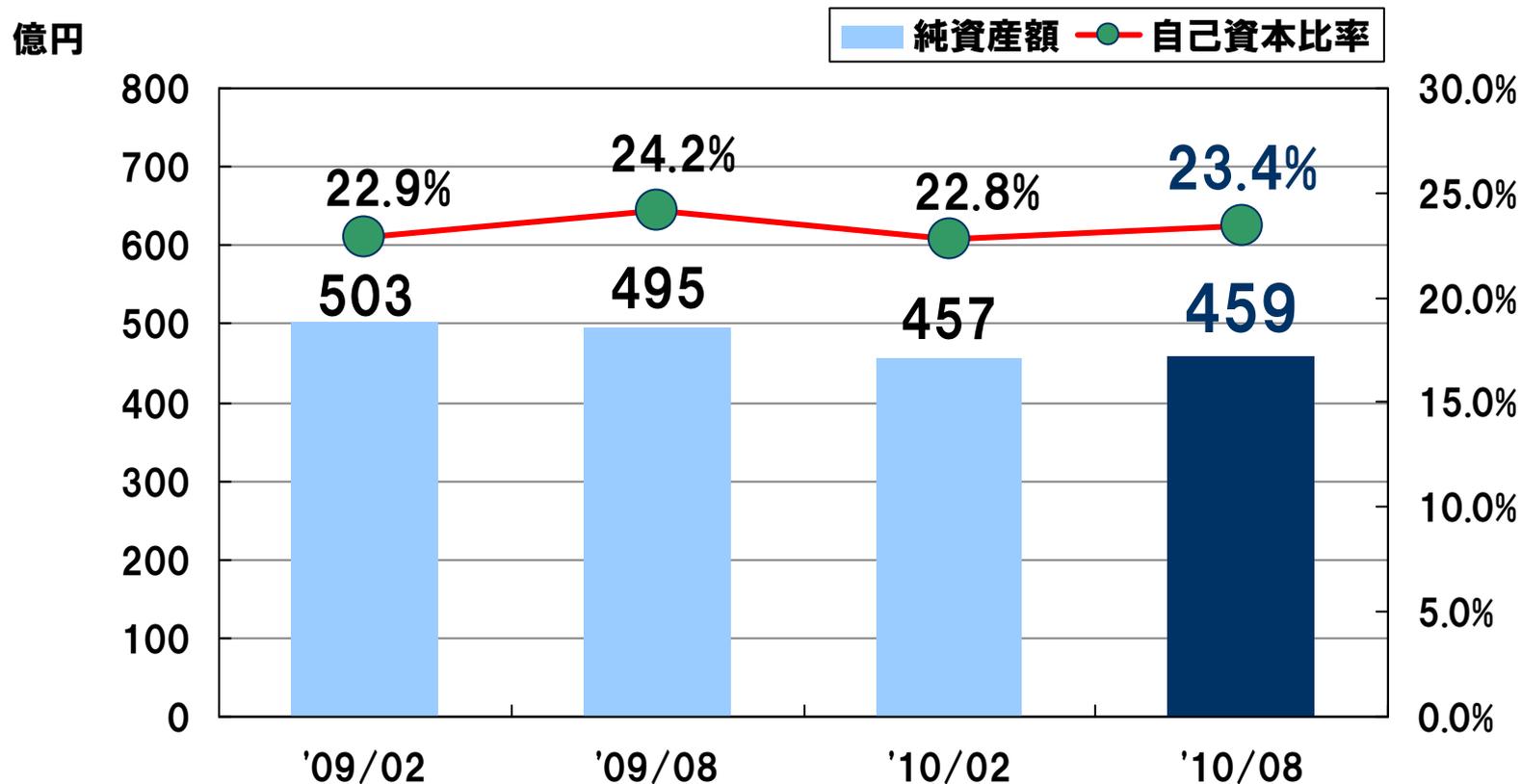
- ・カード特典、サービスの適正化
- ・明細書のハガキ化、Web化
- ・業務委託費用の削減
- ・お客さまセンター問い合わせ一部有料化

#### (2) 人件費削減・組織のスリム化

- ・役職員の報酬カット
- ・支店営業所統合
- ・業務効率化による人員削減

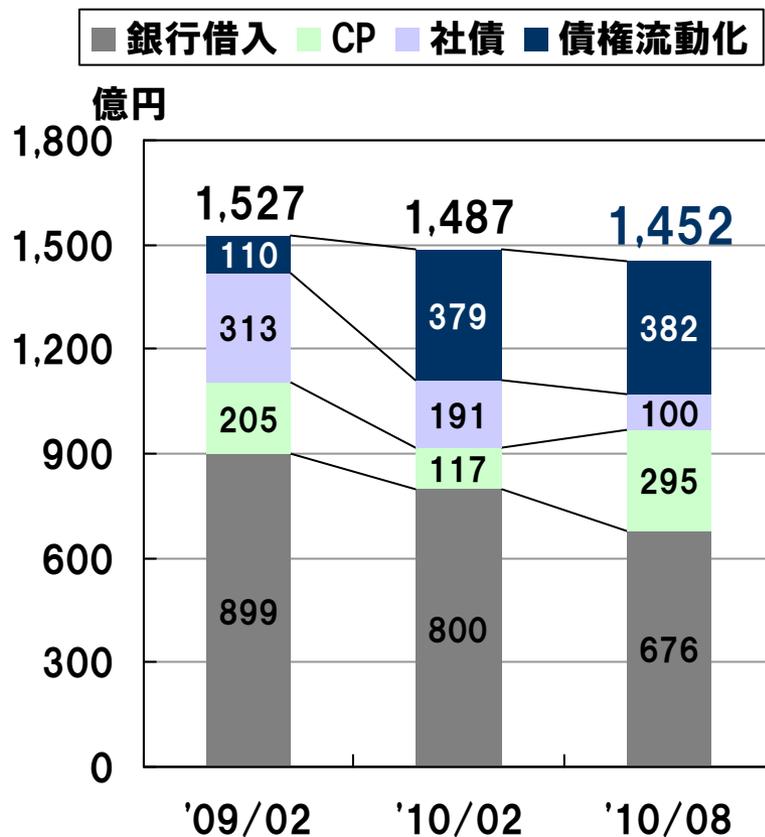
## 純資産、自己資本比率は安定的に推移

### 1. 純資産／自己資本比率推移

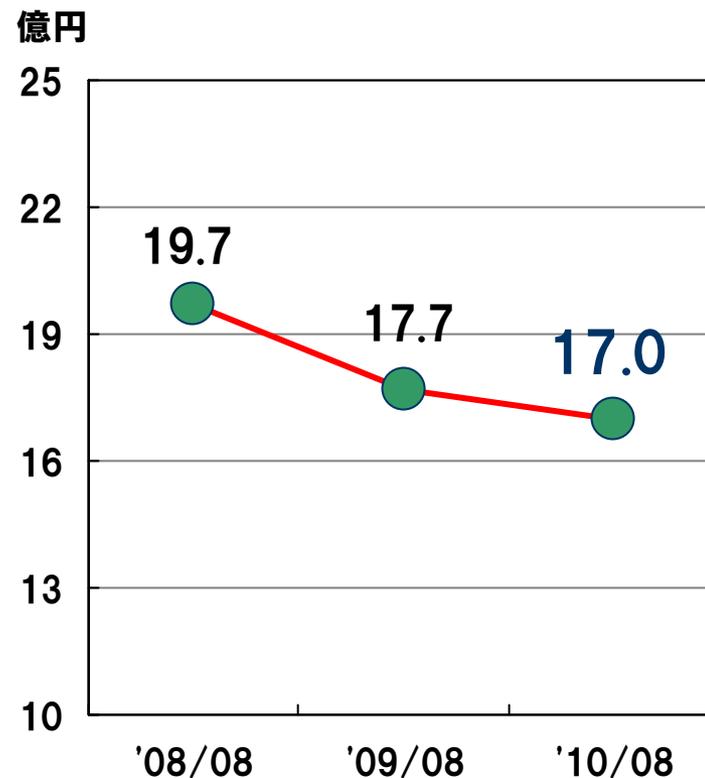


## CP・債権流動化等を活用し調達の多様化を推進 調達総額の減少等により金融費用は減少

### 1. 資金調達状況



### 2. 金融費用推移



## 会員戦略は「量から質」へのシフトを推進 効率化の進展により利用率は向上

	10年8月期	前年同期差
① 新規会員獲得数	88 千件	△67 千件
② カード発行枚数	329 千件	△153 千件
③ 自社分	66 千件	△55 千件
④ プロセッシング分	262 千件	△98 千件
⑤ 有効会員数	3,530 千人	△299 千人
⑥ 利用会員数	1,298 千人	△64 千人
⑦ 年間利用率	35.3 %	+0.6 pt
⑧ 月間利用率	22.5 %	+1.2 pt

## 期初に掲げた経営改善計画は概ね計画通りに進捗

### 1 選択と集中による営業戦略の再構築

- ・ ショッピングリボ、プロセッシング事業は計画を上回って拡大
- ・ プロパーカードの見直し、各種手数料の徴収等、カード戦略の再構築も進展

### 2 経費全般の更なる見直しによる経営体質の改善

- ・ 運営コストの徹底削減、サービスの適正化を着実に遂行
- ・ 営業費用の削減額は計画を上回って達成

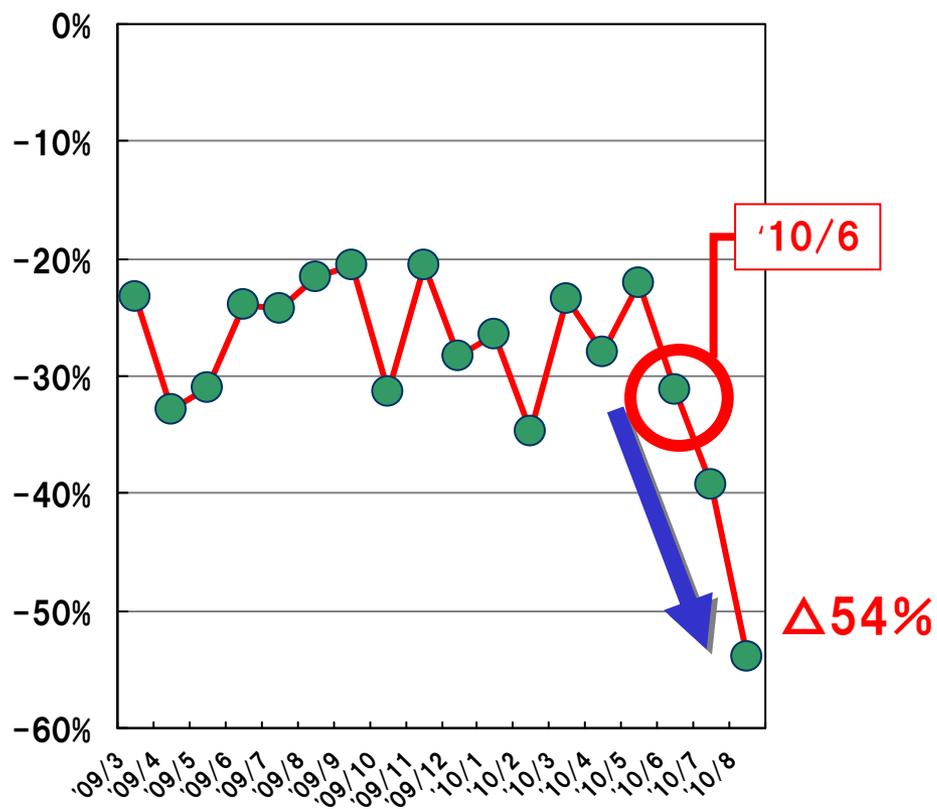
### 3 組織体制のスリム化と効率化

- ・ 部室統廃合による組織のスリム化、業務効率化による人員数削減を実施

# 2010年度下期経営方針

## キャッシング取扱高は前年同月比で大幅に減少 債権管理面でもリスク面を注視

### 1.キャッシング取扱高前年同月比推移



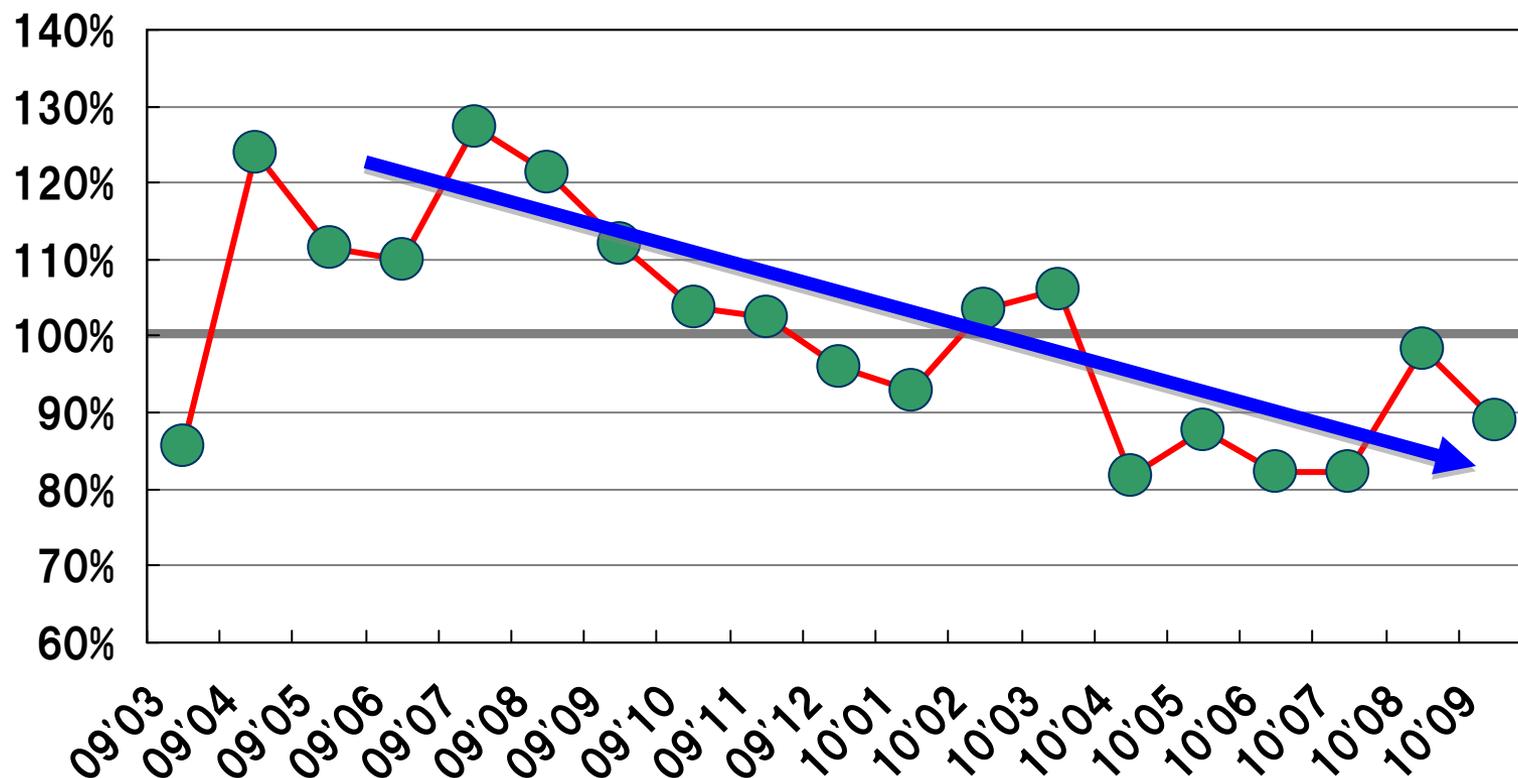
### 2. 債権への影響懸念

#### リスク面を注視

- (1) 延滞発生が増加
- (2) 新規介入が増加
- (3) 回収率の低下

先行指標である新規介入件数は  
前年同月比を下回る水準で推移

## 1.新規介入件数 前年同月比推移



## 1. 2010年度 下期重点課題

### 1. ショッピングリボ残高の拡大

〈ショッピングリボ残高 380億円（期初計画差+10億円）〉

### 2. プロセッシング事業の強化

〈プロセッシング収益 48億円（同+3億円）〉

### 3. 融資事業における総量規制への適切な対応

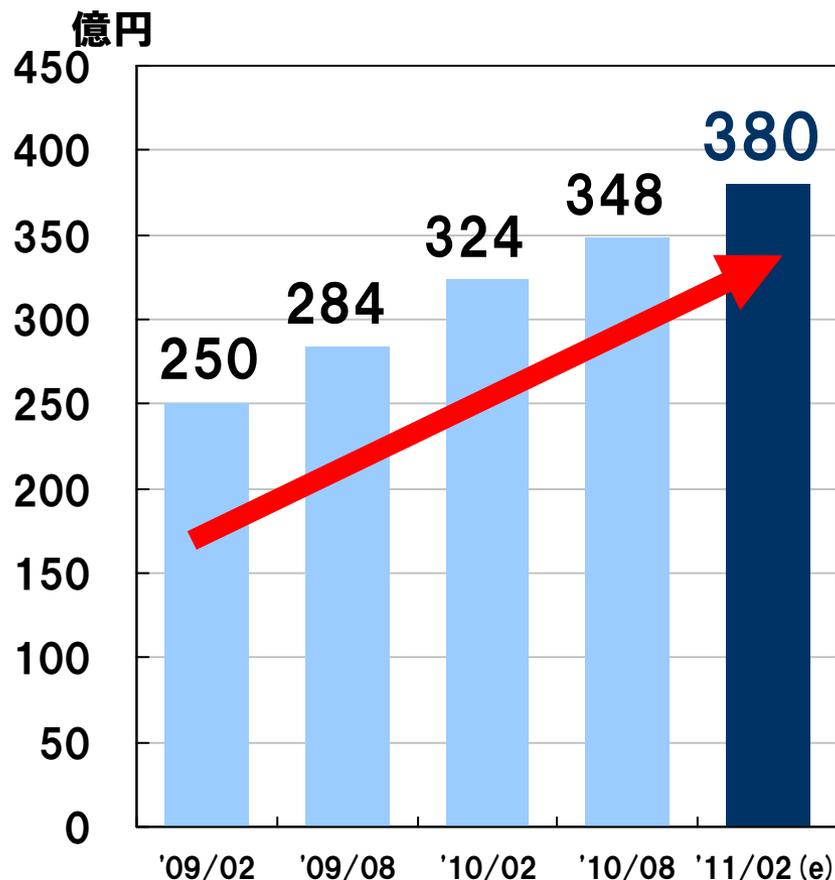
〈キャッシング残高 1,075億円（同△105億円）〉

### 4. カード戦略の再構築

### 5. 業務効率化・コスト削減の徹底

## ショッピングリボの成長性維持、残高の拡大

### 1. ショッピングリボ残高計画



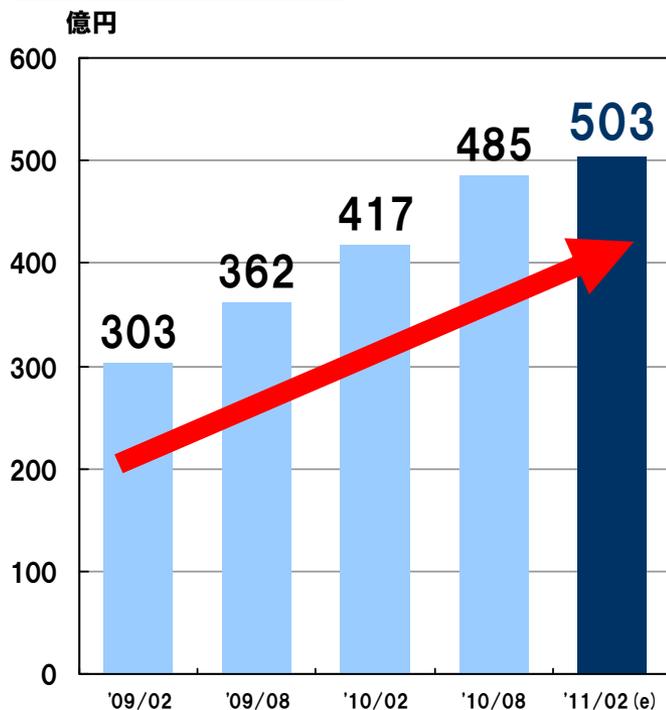
### 従来の拡大戦略を継続

- (1) リボ宣言・あとリボ推進
- (2) FLEXYカードの獲得強化
- (3) ZOZO等の若年層市場の開拓強化
- (4) 改正割賦販売法への適切な対応

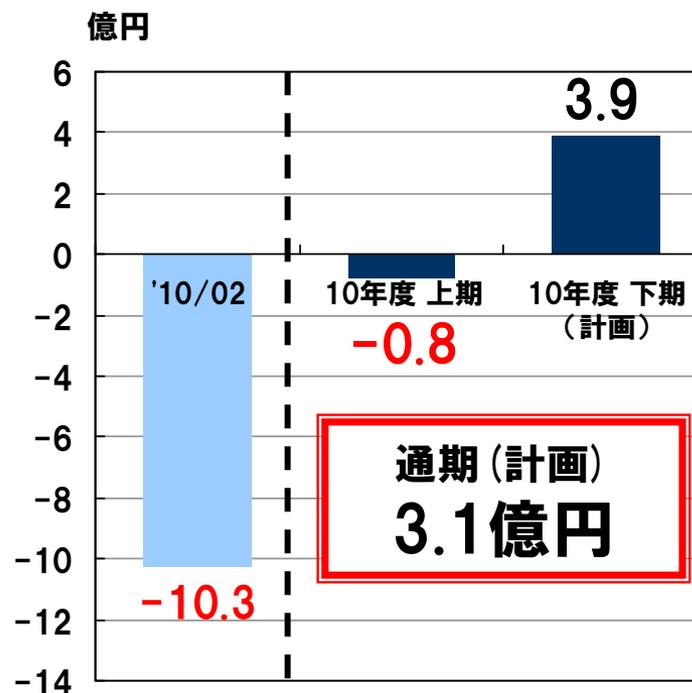
## 2. プロセッシング事業の強化

### 月次黒字幅の拡大、単年度黒字の達成

#### 1. 保証残高計画

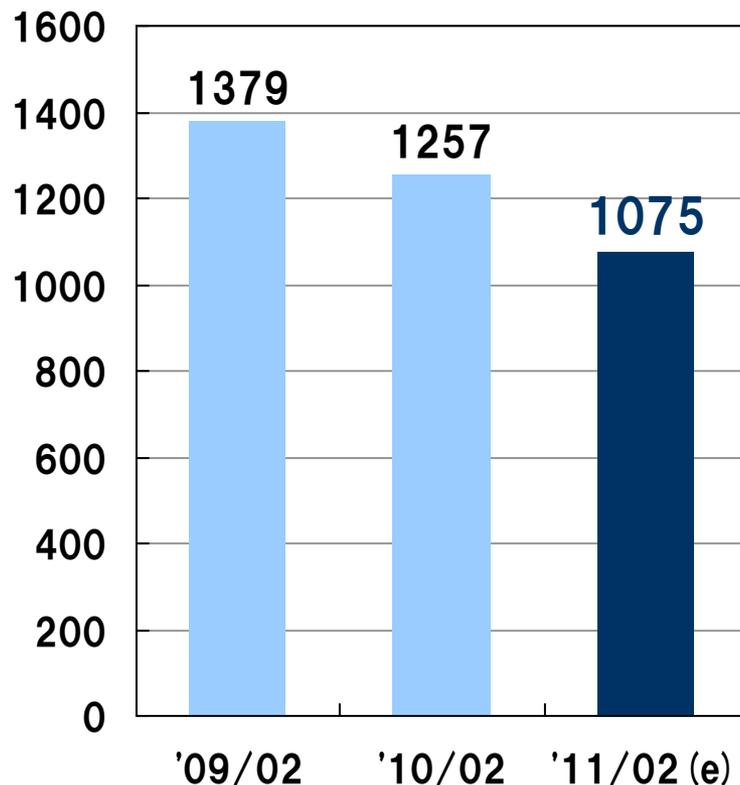


#### 2. プロセッシング事業損益計画



## 総量規制の遵守と影響の最小化

### 1. キャッシング残高計画



### 下期重点施策

- (1) カウンセリング・返済見直し商品強化
- (2) 事業性商品等の例外商品強化・推進
- (3) 与信精度向上による延滞抑制

## 1. カード戦略の再構築の取組み

### (1) プロパーカードの再構築

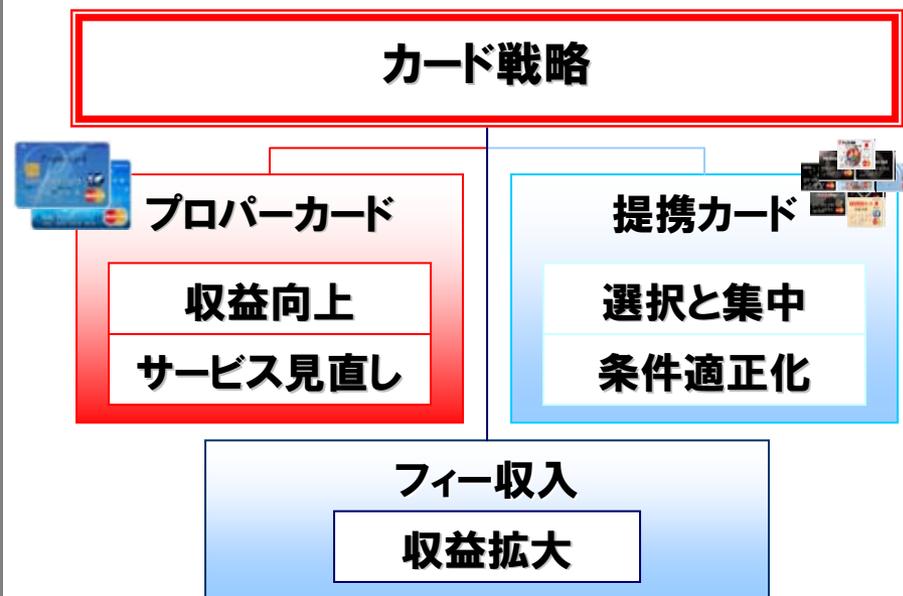
- ・ 11月より新プロパーカード発行
- ・ 年会費、手数料徴収の推進
- ・ 特典・サービスの見直し

### (2) 提携カードの見直し

- ・ 提携先企業の条件見直し

### (3) フィー収入の拡大

- ・ 保険架電受託等の新たな取組み
- ・ 各種会員向けサービスの拡充



経営改善計画で掲げた目標額を上回る  
前年比**13億円**のコスト削減を実施

### 1.業務プロセス見直し

- ① オペレーションの抜本的見直し
- ② 運営コストの徹底削減
- ③ 特典サービスの適正化

年間削減額 7.9億円

### 2.人件費・組織のスリム化と効率化

- ① 全役職員の報酬カット
- ② 部室統廃合、人員削減による組織のスリム化

年間削減額 5.1億円

## SMFGグループ・伊藤忠グループの持分法適用関連会社として 財務面・マーケティング面の両方で緊密な関係を継続

### SMFGグループ



三井住友銀行

SMBC Sumitomo Mitsui Banking Corporation

持分法適用



スロミス  
PROMISE

持分法適用



クレジットカードサービスを創造する  
ポケットカード

### 伊藤忠グループ



持分法適用

伊藤忠商事



あなたと、コンビニ。  
FamilyMart

ファミマクレジット  
ファミリーマート



	2010年度 計画	前期差
① 営業収益	362 億円	△13 億円
② 営業利益	22 億円	+90 億円
③ 経常利益	22 億円	+90 億円
④ 当期純利益	14 億円	+55 億円

◆本日の説明会に関するご質問、個別IRミーティング  
開催のご希望、その他IRに関するご質問  
などございましたら下記までご連絡ください。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

経営企画部 IR・広報担当 廣田・外崎

TEL：03-5441-3450 FAX：03-5441-1231

E-mail：koho@pocketcard.co.jp

弊社IRホームページ

<http://www.pocketcard.co.jp/ir/>